

首都圏中央連絡自動車道  
あきる野～鶴ヶ島間土質地質調査業務

参 考 図

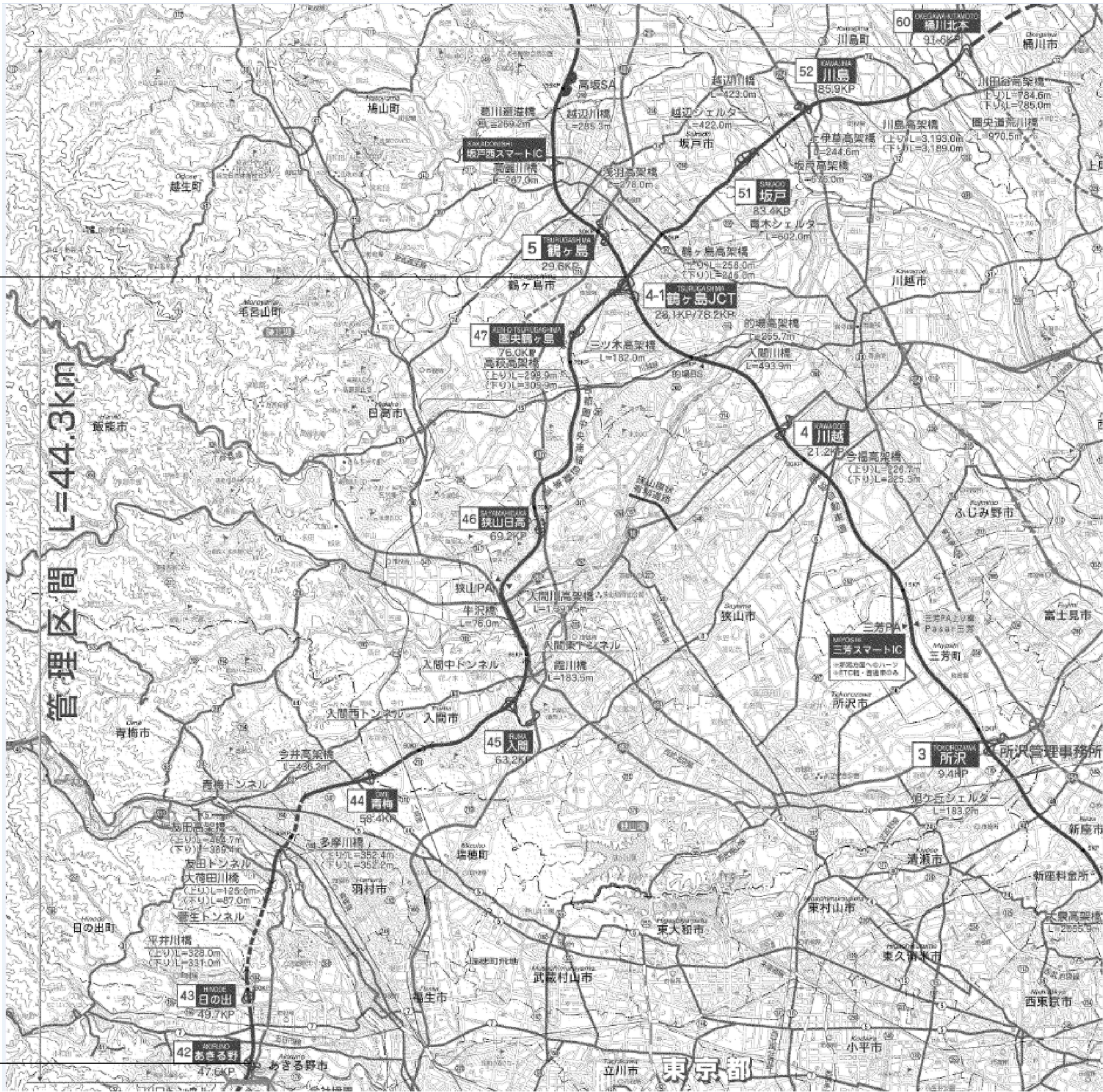
令和 8 年 6 月

東日本高速道路株式会社 関東支社  
所 沢 管 理 事 務 所



参考位置図

履行箇所  
首都圏中央連絡自動車道  
あきる野IC～鶴ヶ島JCT  
47.3KP～78.2KP



首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質調査業務	
図面の種類	参考位置図
縮尺	— 図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所



参考数量総括表（１）

項目			調査ボーリング 粘性土・シルト φ 66mm 鉛直下方 オールコアリング	調査ボーリング 砂・砂質土 φ 66mm 鉛直下方 オールコアリング	調査ボーリング 粘性土・シルト φ 116mm 鉛直下方 ノンコアリング	調査ボーリング 砂・砂質土 φ 116mm 鉛直下方 ノンコアリング	標準貫入試験 粘性土・シルト	標準貫入試験 砂・砂質土	サンプリング 三重管式	試料採取 試料採取B	土質試験 土粒子の密度 試験方法	土質試験 土の粒度試験方 法（ふるい分析） 試料2.0～4.0kg	土質試験 土の粒度試験方 法（ふるい分析） 試料4.0kg超
調査箇所	コア番号	単位	m	m	m	m	回	回	本	試料	シリーズ*	シリーズ*	シリーズ*
あきる野1-1	—									1			
あきる野1-2	—												
あきる野1-3	—												
青梅1-1	B I－1		9.8	1.2			10	1					
青梅1-2	B I－2				9.8	1.2			4		4		2
青梅1-3	—									3			
狭山日高1-1	B I－3		10.8	1.2			11	1					
狭山日高1-2	B I－4				5.8	1.2			4		4	1	1
狭山日高1-3	—									3			
狭山日高2-1	B I－5		11.8	1.2			12	1					
狭山日高2-2	B I－6				11.8	1.2			4		4	1	1
狭山日高2-3	—									3			
圏央鶴ヶ島1-1	B I－7		12.8	1.2			13	1					
圏央鶴ヶ島1-2	B I－8				5.8	1.2			4		4	1	1
圏央鶴ヶ島1-3	—									3			
合計			45.2	4.8	33.2	4.8	46	4	16	13	16	3	5

首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質地質調査業務			
図面の種類	参考数量総括表（１）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



参考数量総括表（2）

項目			土質試験 土の粒度試験方 法（ふるい～沈 降分析）0.5kg以 下	土質試験 土の液性限界・ 塑性限界試験方 法	土質試験 CBR試験方法 （締固めた土の 呼び名E－1法）	土質試験 CBR試験方法 （締固めた土の 呼び名E－2法）	土質試験 CBR試験方法 （安定処理土の CBR試験呼び名 BS－1法）	土質試験 CBR試験方法 （安定処理土の CBR試験呼び名 ES－2法）	土質試験 土の湿潤密度試 験方法	水質分析試験 試料採取	水質分析試験 マグネシウムイ オン	水質分析試験 カリウムイオン	水質分析試験 カルシウムイオン
調査箇所	コア番号	単位	シリーズ	シリーズ	シリーズ	シリーズ	シリーズ	シリーズ	シリーズ	箇所	試料	試料	試料
あきる野1-1	—							1		1	1	1	1
あきる野1-2	—									1	1	1	1
あきる野1-3	—									1	1	1	1
青梅1-1	B I－1												
青梅1-2	B I－2		2	4					4				
青梅1-3	—				1		1	1					
狭山日高1-1	B I－3												
狭山日高1-2	B I－4		2	4					4				
狭山日高1-3	—				2	1							
狭山日高2-1	B I－5												
狭山日高2-2	B I－6		2	4					4				
狭山日高2-3	—				2	1							
圏央鶴ヶ島1-1	B I－7												
圏央鶴ヶ島1-2	B I－8		2	4					4				
圏央鶴ヶ島1-3	—				2	1							
合計			8	16	7	3	1	2	16	3	3	3	3

首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質地質調査業務			
図面の種類	参考数量総括表（2）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



参考数量総括表（3）

項目			水質分析試験 ナトリウムイオン	水質分析試験 硫酸イオン	水質分析試験 塩素イオン	水質分析試験 マンガンイオン	水質分析試験 溶存酸素量	水質分析試験 第一鉄イオン	水質分析試験 炭酸水素イオン	水質分析試験 アデノシン三リン酸	地下水位計観測 （自記水位計設置）	地下水位計観測 （自記水位計観測）	動態観測 パイプ式ひずみ計 設置
調査箇所	コア番号	単位	試料	試料	試料	試料	試料	試料	試料	試料	箇所	回	孔
あきる野1-1	—		1	1	1	1	1	1	1	1			
あきる野1-2	—		1	1	1	1	1	1	1	1			
あきる野1-3	—		1	1	1	1	1	1	1	1			
青梅1-1	B I－1										1	5	
青梅1-2	B I－2												1
青梅1-3	—												
狭山日高1-1	B I－3												
狭山日高1-2	B I－4												
狭山日高1-3	—												
狭山日高2-1	B I－5										1	5	
狭山日高2-2	B I－6												1
狭山日高2-3	—												
圏央鶴ヶ島1-1	B I－7												
圏央鶴ヶ島1-2	B I－8												
圏央鶴ヶ島1-3	—												
合計			3	3	3	3	3	3	3	3	2	10	2

首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質調査業務			
図面の種類	参考数量総括表（3）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



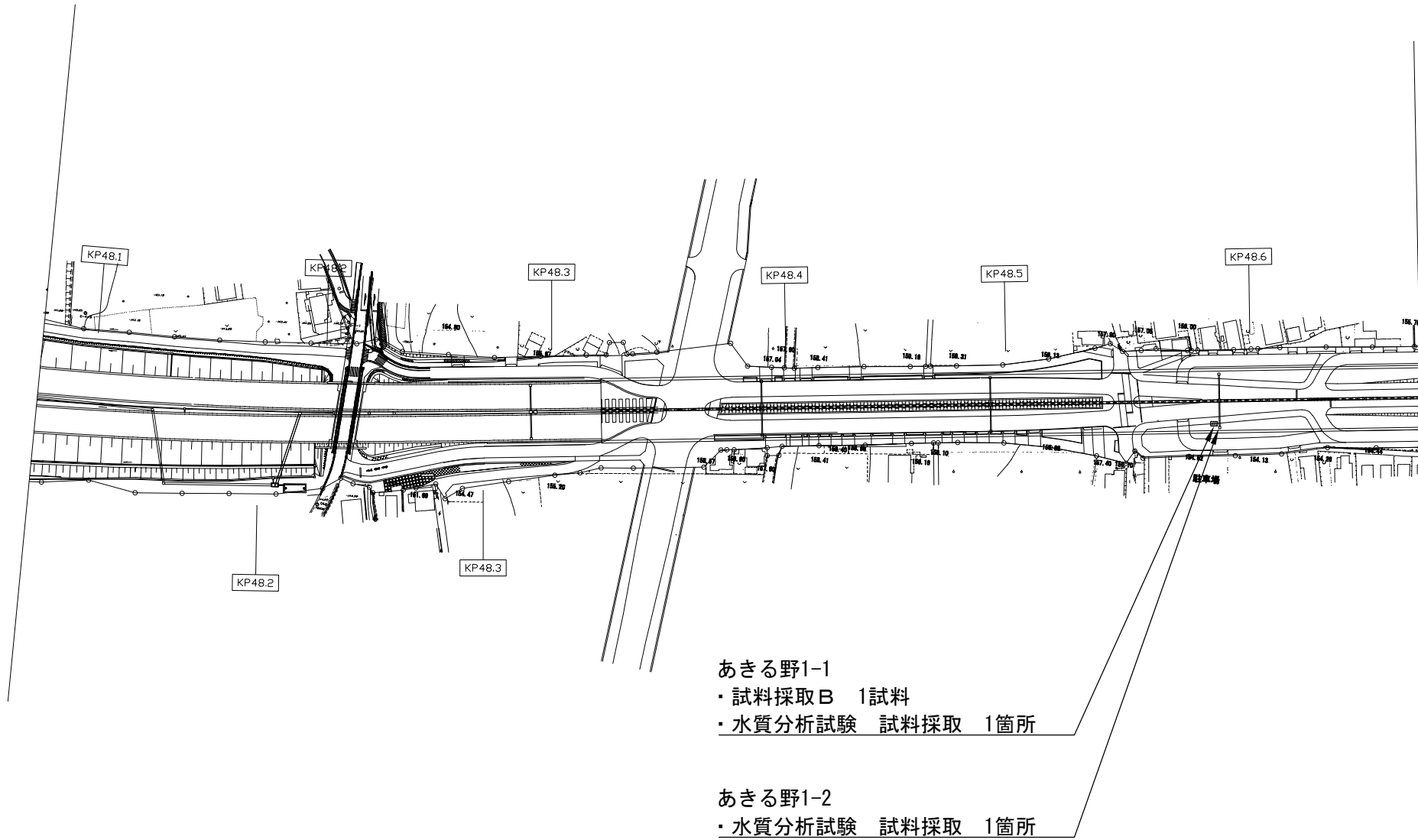
参考数量総括表（４）

項目			動態観測 パイプ式ひずみ 計 観測	環境保全	調査孔閉塞	足場仮設 傾斜地足場15° 以上～30° 未満	現場内小運搬	機械等運搬	交通規制工 路肩規制 A	調査ボーリング 解析	対策工法の検討	ヘキサダイアグラ ム
調査箇所	コア番号	単位	回	箇所	箇所	箇所	地点	式	回	m	対策箇所	箇所
あきる野1-1	—							1			1	1
あきる野1-2	—											1
あきる野1-3	—											1
青梅1-1	B I - 1			1		1	1		2	11.0	1	
青梅1-2	B I - 2		5	1		1	1					
青梅1-3	—											
狭山日高1-1	B I - 3			1	1	1	1		2	12.0	1	
狭山日高1-2	B I - 4			1	1	1	1					
狭山日高1-3	—											
狭山日高2-1	B I - 5			1		1	1		2	13.0	1	
狭山日高2-2	B I - 6		5	1		1	1					
狭山日高2-3	—											
圏央鶴ヶ島1-1	B I - 7			1	1	1	1		2	14.0	1	
圏央鶴ヶ島1-2	B I - 8			1	1	1	1					
圏央鶴ヶ島1-3	—											
合計			10	8	4	8	8	1	8	50.0	5	3

首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質調査業務		
図面の種類	参考数量総括表（４）	
縮 尺	—	図面番号
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所	



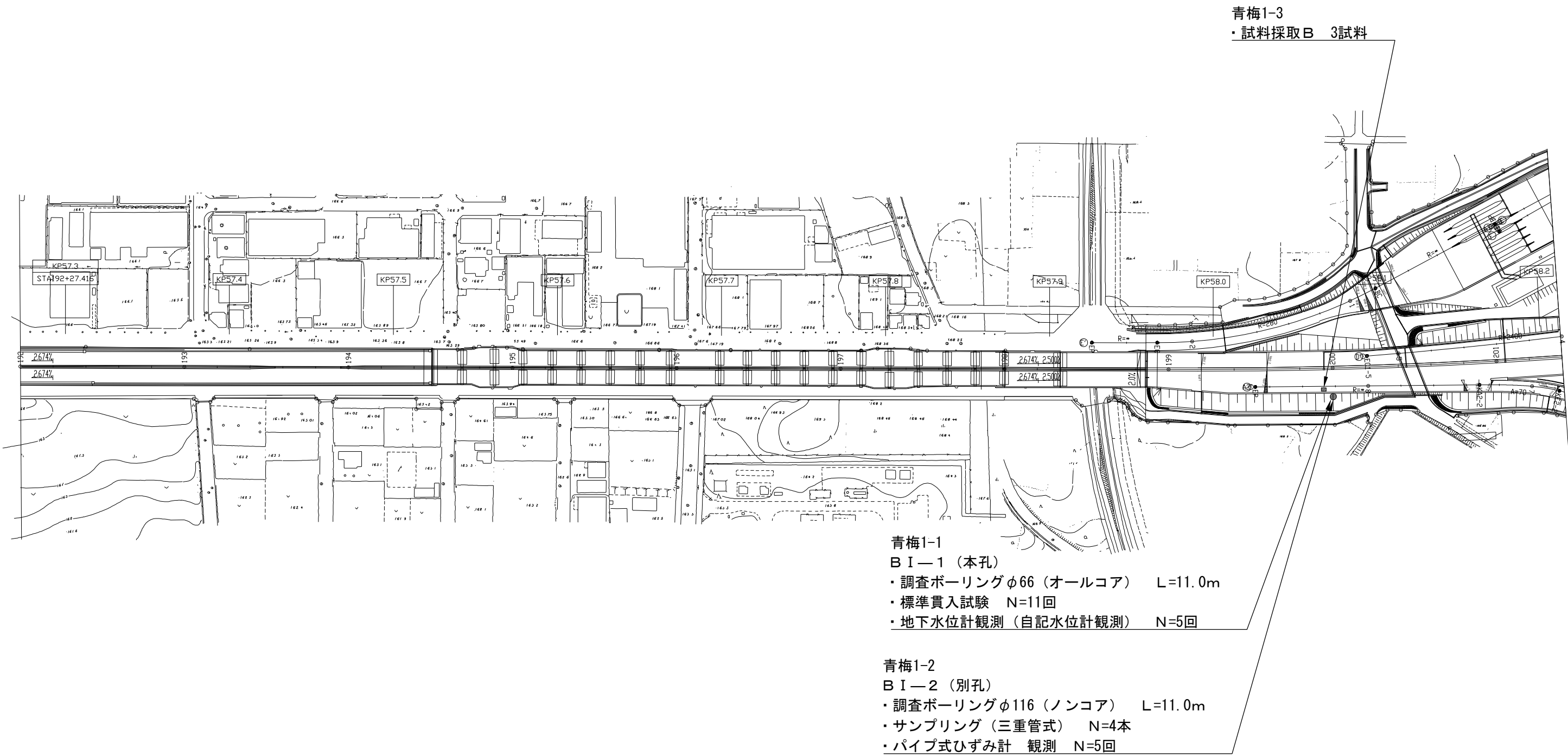
参考平面図（１）



首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質地質調査業務			
図面の種類	参考平面図（１）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



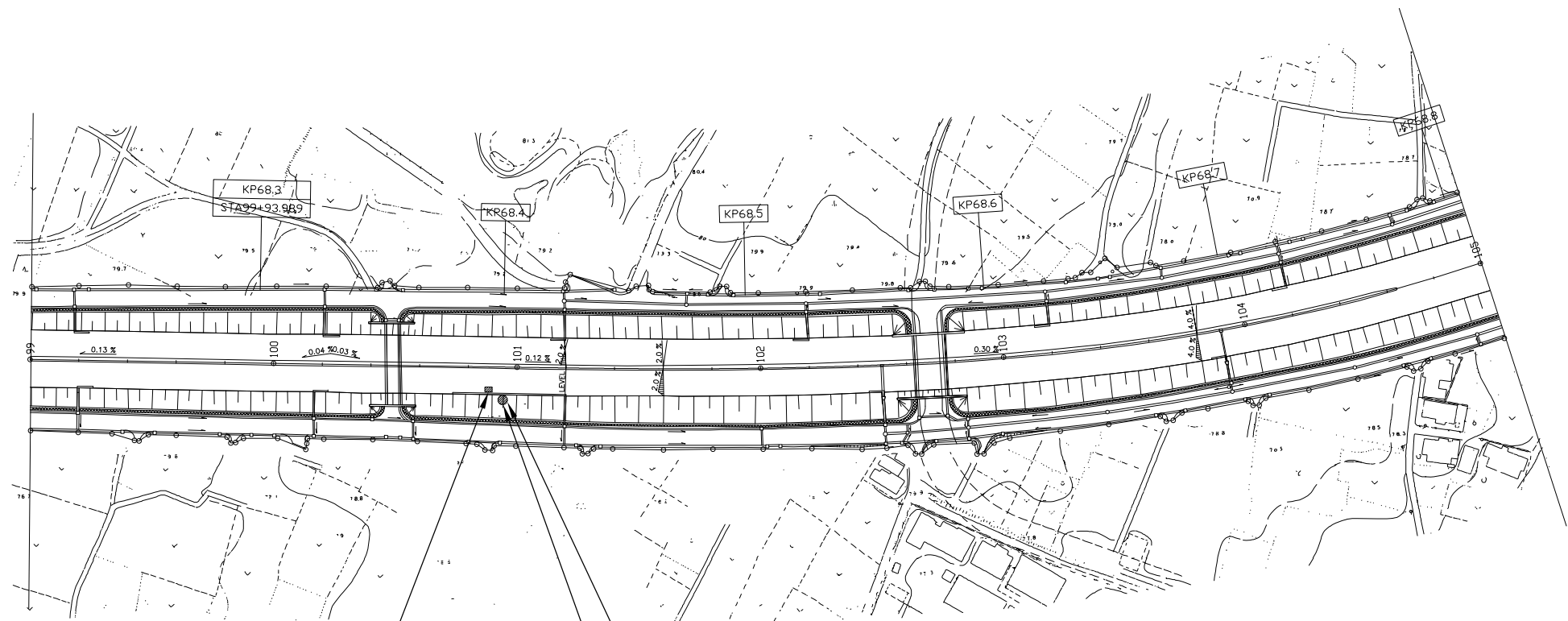
参考平面図（2）



首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質調査業務			
図面の種類	参考平面図（2）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



参考平面図（3）



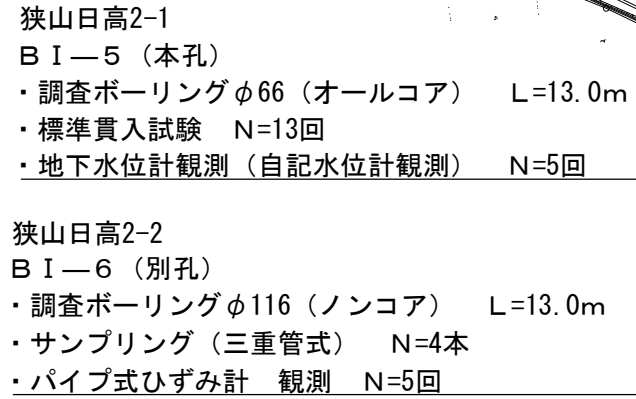
狭山日高1-3  
・試料採取B 3試料

狭山日高1-1  
B I—3（本孔）  
・調査ボーリングφ66（オールコア） L=12.0m  
・標準貫入試験 N=12回

狭山日高1-2  
B I—4（別孔）  
・調査ボーリングφ116（ノンコア） L=7.0m  
・サンプリング（三重管式） N=4本

首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質調査業務			
図面の種類	参考平面図（3）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

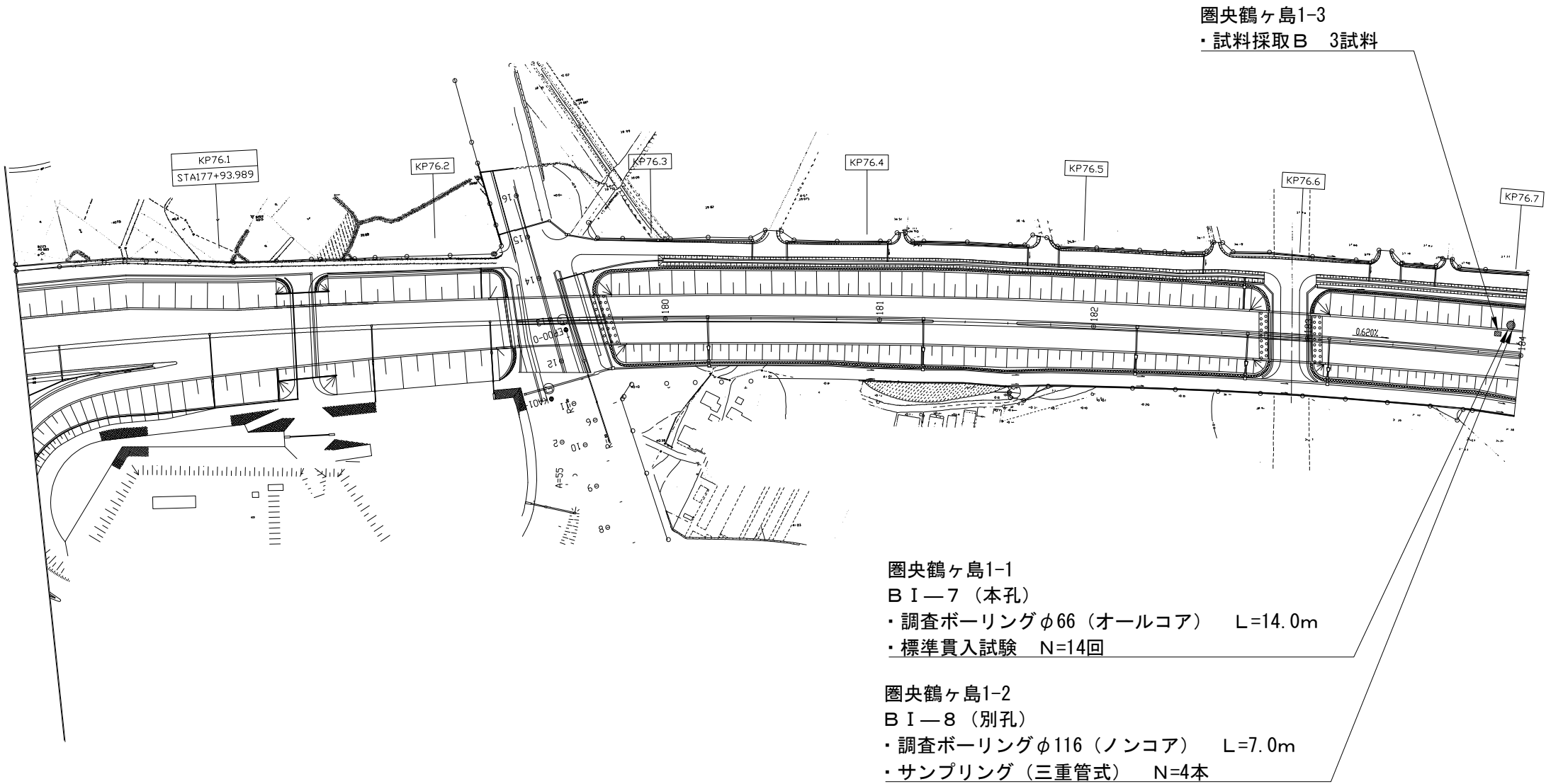




首都圏中央連絡自動車道	
あきる野～鶴ヶ島間土質地质調査業務	
図面の種類	参考平面図（４）
縮 尺	— 図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所



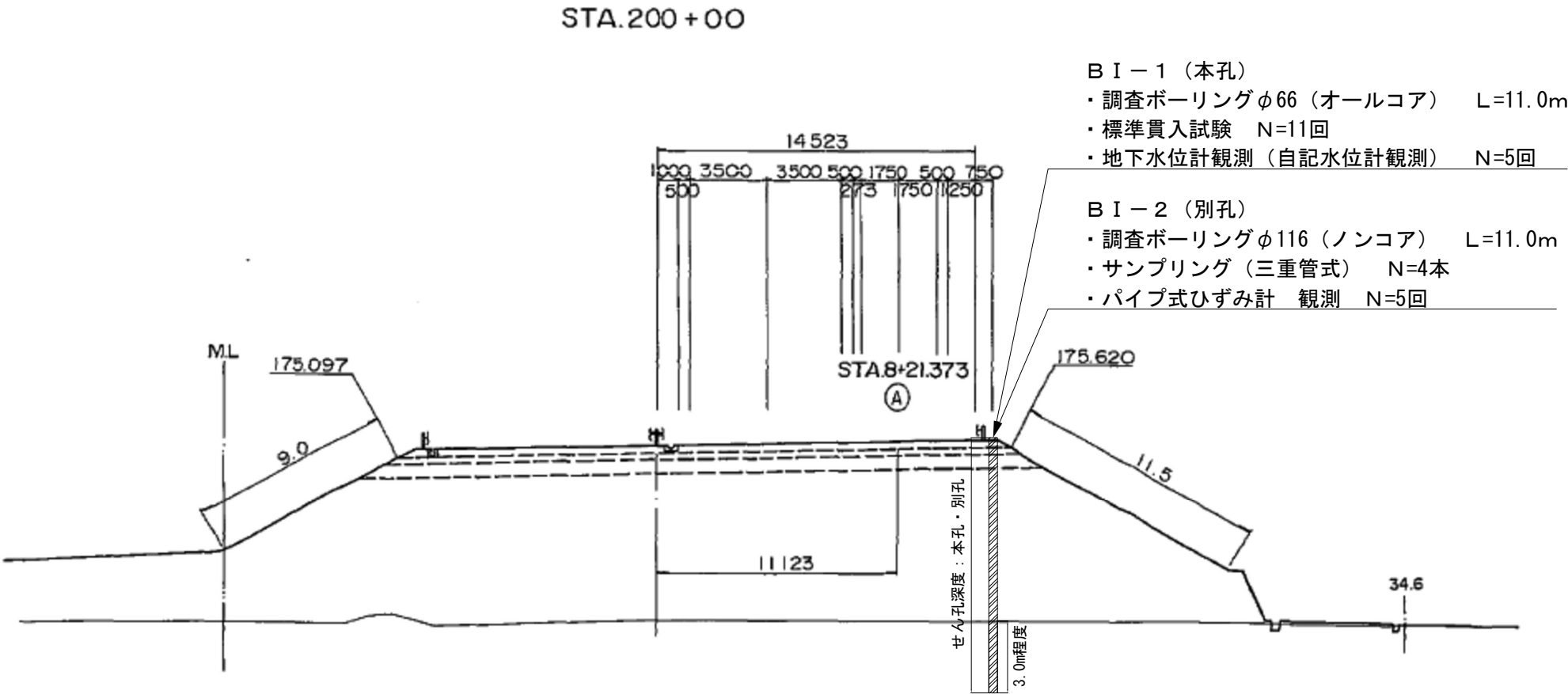
参考平面図（５）



首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質調査業務			
図面の種類	参考平面図（５）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



参考横断図（１）

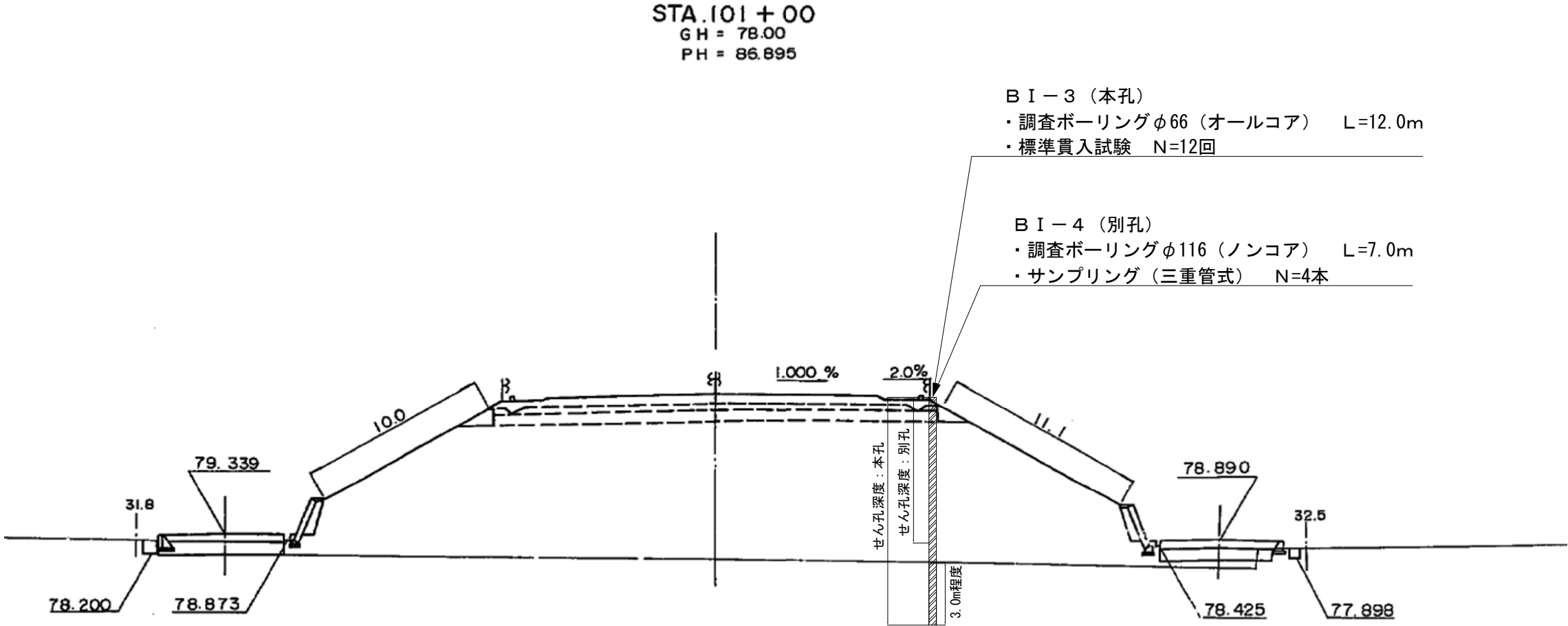


注記) 参考横断図は調査ボーリング箇所近傍の既往完成図を用いている。

首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質調査業務			
図面の種類	参考横断図（１）		
縮尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		



参考横断図（2）

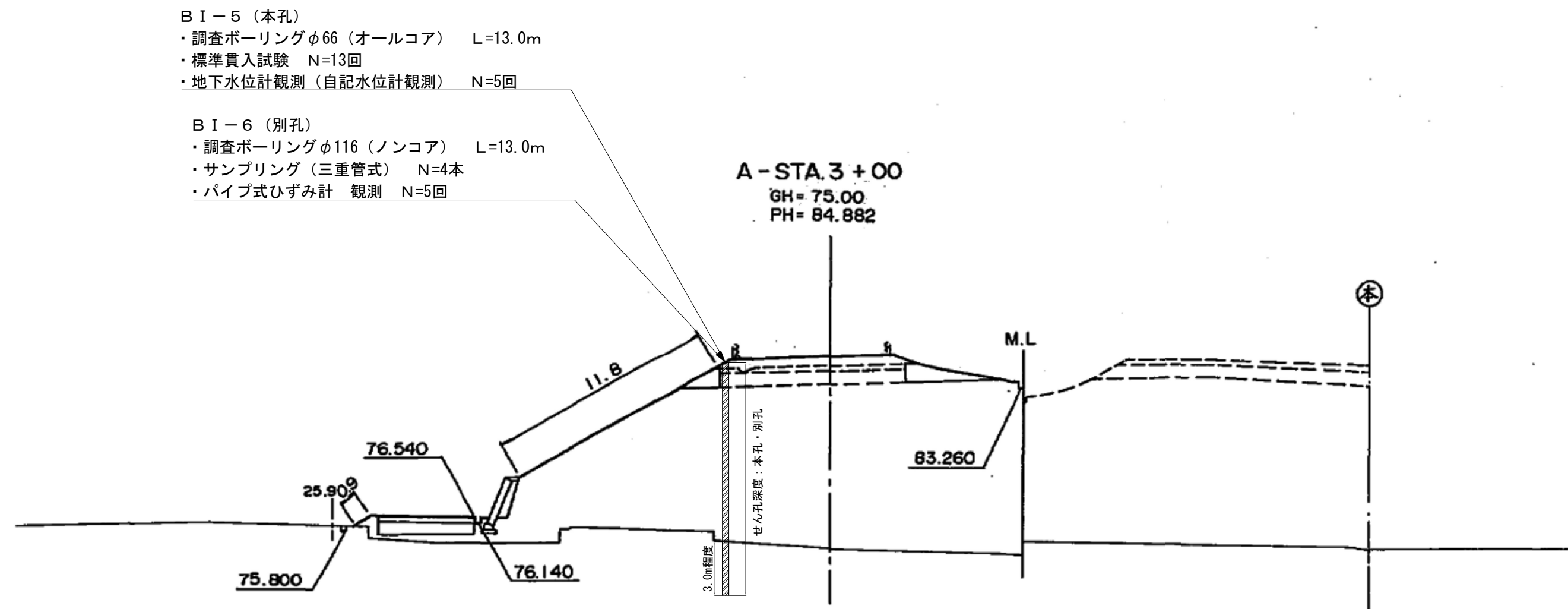


注記）参考横断図は調査ボーリング箇所近傍の既往完成図を用いている。

首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質調査業務			
図面の種類	参考横断図（2）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



参考横断図（3）



注記) 参考横断図は調査ボーリング箇所近傍の既往完成図を用いている。

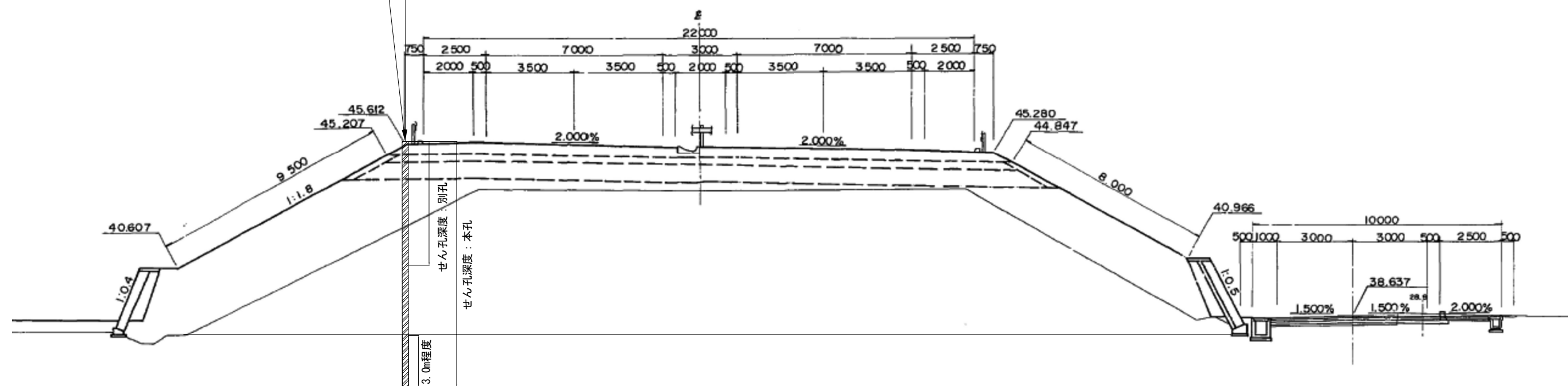
首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質調査業務			
図面の種類	参考横断図（3）		
縮尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		



参考横断図（４）

BI-7（本孔）  
・調査ボーリングφ66（オールコア） L=14.0m  
・標準貫入試験 N=14回

BI-8（別孔）  
・調査ボーリングφ116（ノンコア） L=7.0m  
・サンプリング（三重管式） N=4本

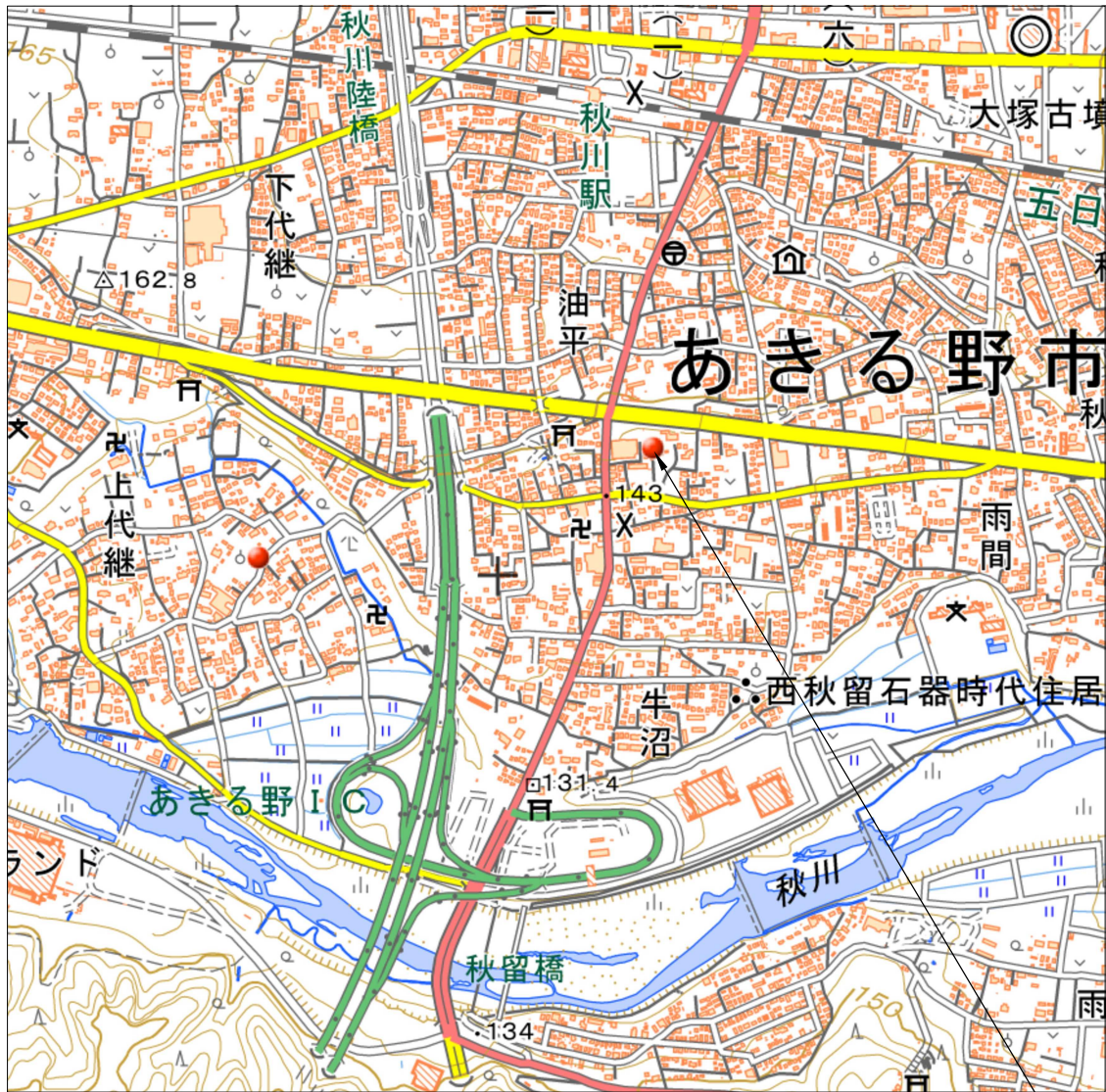


注記）参考横断図は調査ボーリング箇所近傍の既往完成図を用いている。

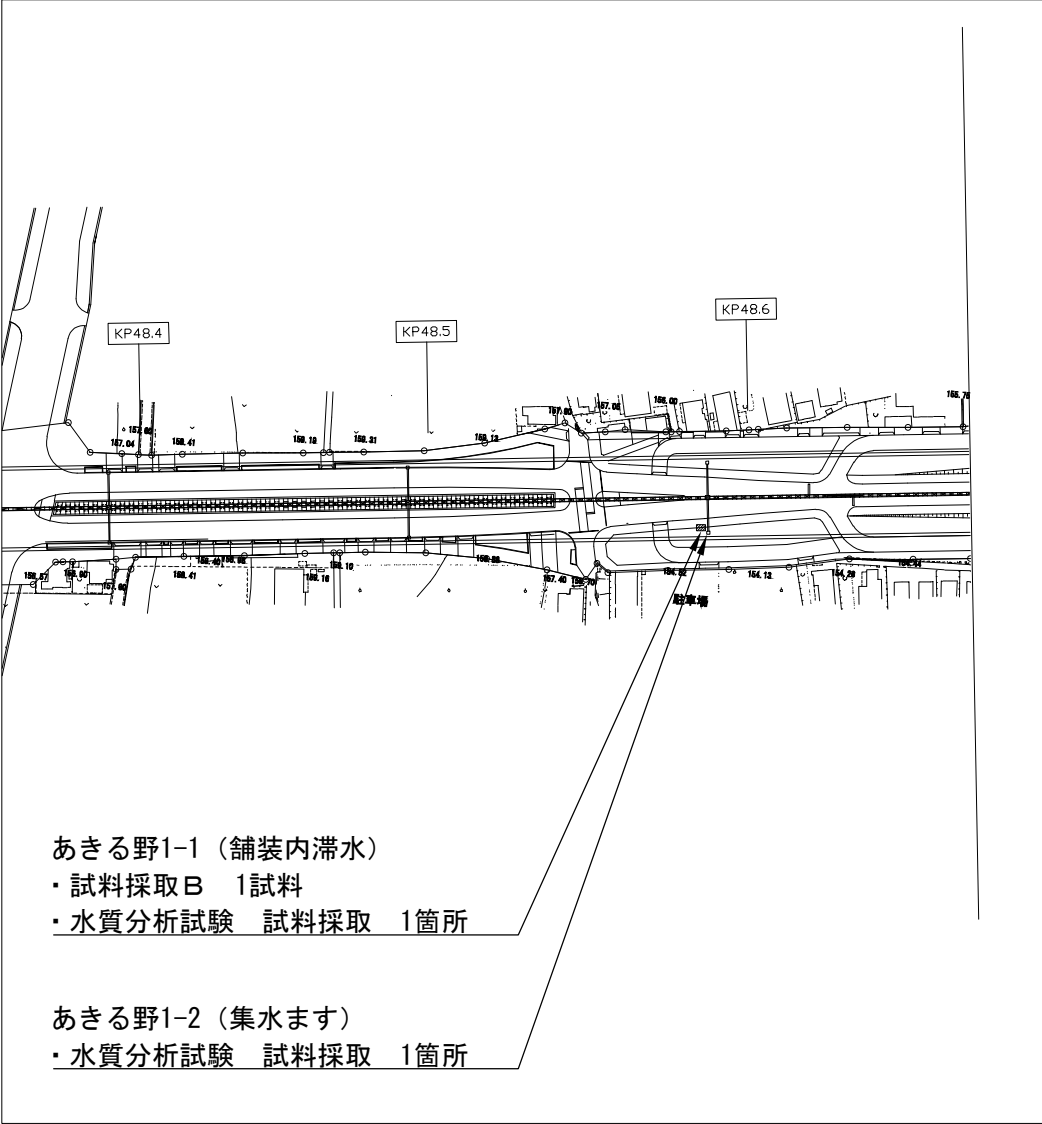
首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質調査業務			
図面の種類	参考横断図（４）		
縮尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		



水質分析試験 試料採取位置図



※地理院地図(国土地理院)(<https://maps.gsi.go.jp/>)をもとに、  
東日本高速道路(株)が加工

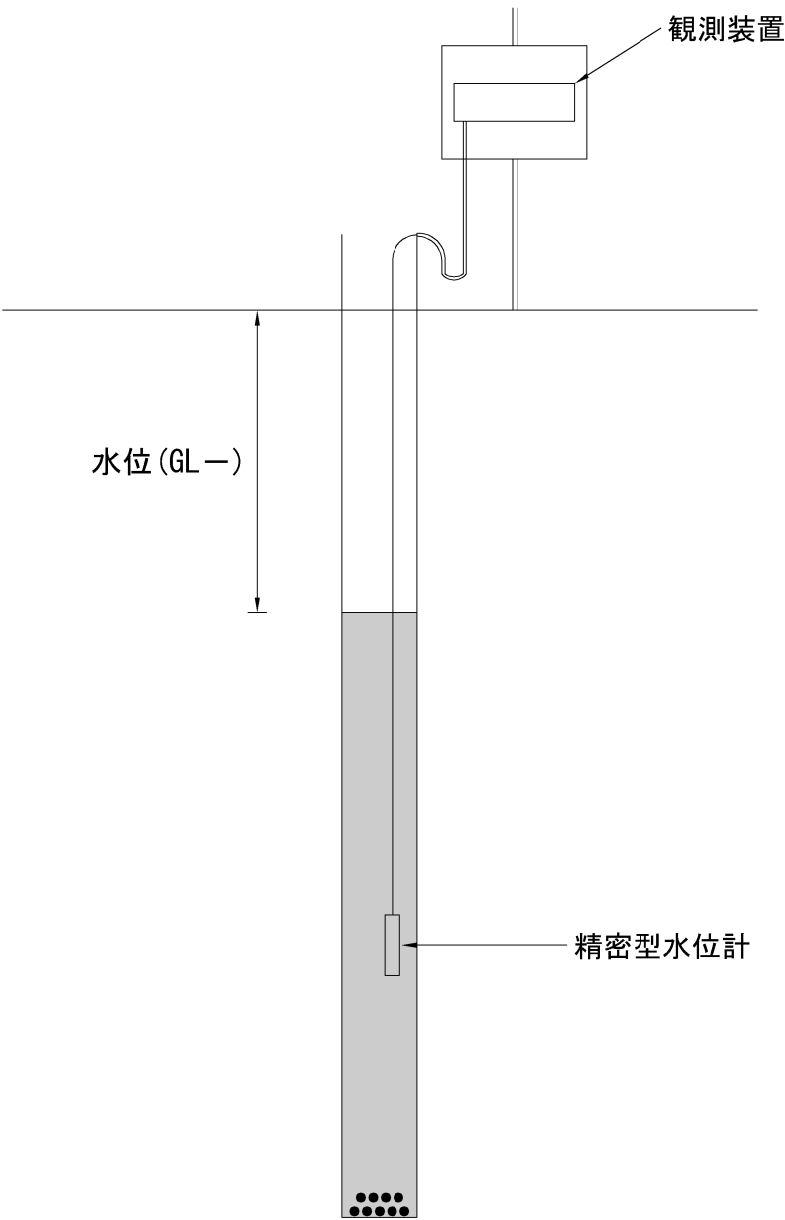


あきる野1-3（既設井戸）  
・水質分析試験 試料採取 1箇所

首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質調査業務			
図面の種類	参考詳細図（1）		
縮尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		



地下水位計 設置図

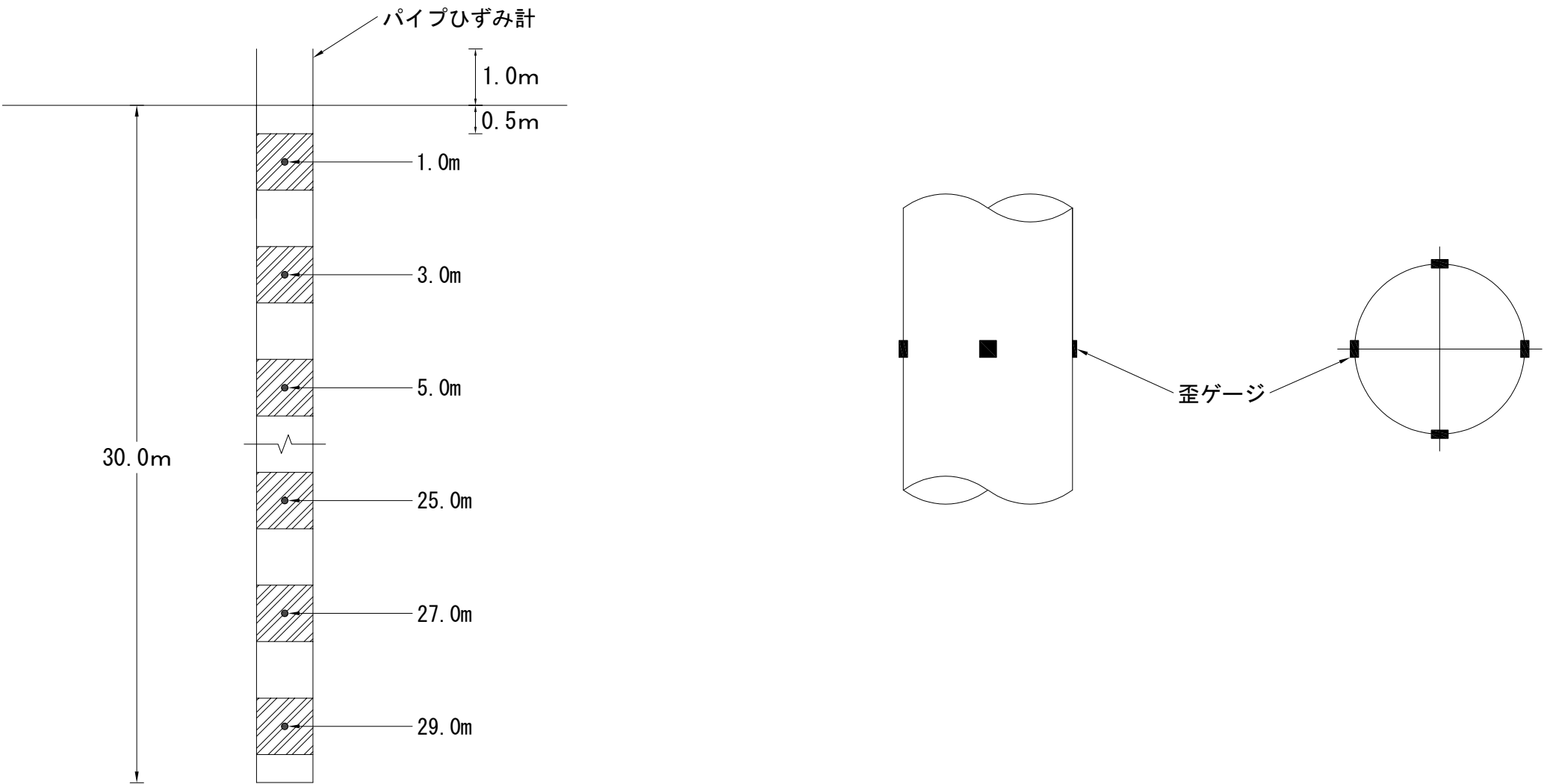


材料表		1箇所当たり（30m以内）	
名称	単位	数量	備考
塩ビ管（VPφ50mm）	m	26.0	有孔管
塩ビ管（VPφ50mm）	m	5.0	無孔管（立ち上がり1m含む）
格納箱	箱	1	
雑品	式	1	砂利、フィルター、木杭等

首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質地質調査業務			
図面の種類	参考詳細図（2）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



パイプひずみ計 設置図

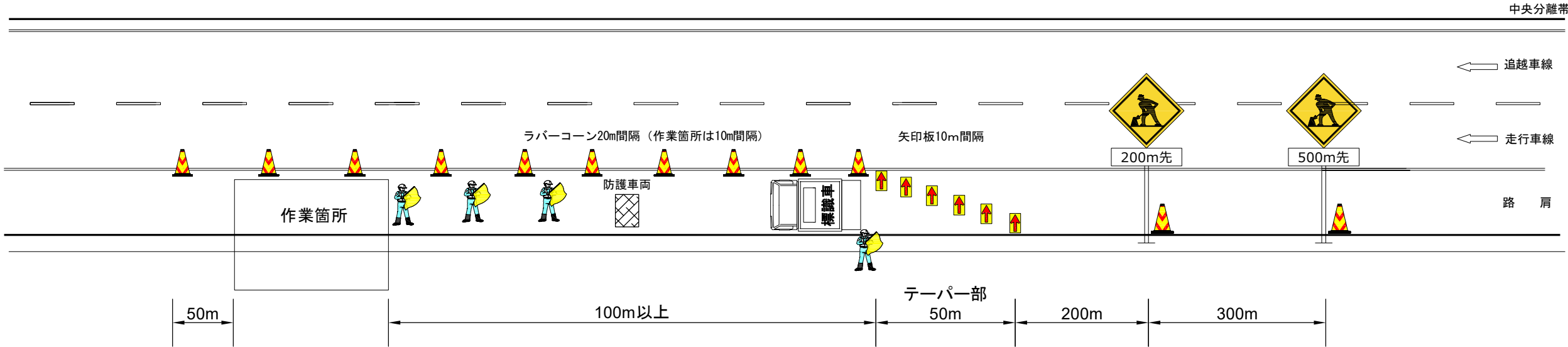


材料表		1 孔当たり（30m以内）	
名称	単位	数量	備考
パイプひずみ計	本	30	φ48mm,t3.6mm
リード線	m	1,020	2方向4ゲージ
収納箱	箱	1	
消耗品	式	1	グラウト材、ソケット、中間パイプ等

首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質調査業務			
図面の種類	参考詳細図（3）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



路肩規制 A



数量表

1規制当たり

名称	数量	単位	備考
予告標識	2	基	貸与品
矢印版	必要数	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数	本	貸与品
標識車	1	台	貸与品
防護車両	1	台	受注者用意（規制に含む）
発炎筒（設置・撤去）	6	本	受注者用意（規制に含む）
交通監視員(テーパ部)	1	人	規制費に含む
交通監視員(工事車両出入口)	1	人	規制費に含む
交通監視員(作業箇所)	1	人	規制費に含む
交通監視員(規制内巡廻等)	1	人	規制費に含む

※1. 発炎筒(5分用)使用本数は、各テーパ設置・撤去時3本/箇所とする。(設置時：3本、撤去時：3本)

首都圏中央連絡自動車道 あきる野～鶴ヶ島間土質調査業務			
図面の種類	参考交通規制図		
縮尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		